



RE雨宮Racing

有限会社アール・イー・アメミヤ

〒286-0221 千葉県富里市七栄439-10

TEL:0476-90-0007/FAX:0476-91-4570

Home Page:<http://www.re-amemeiya.co.jp>

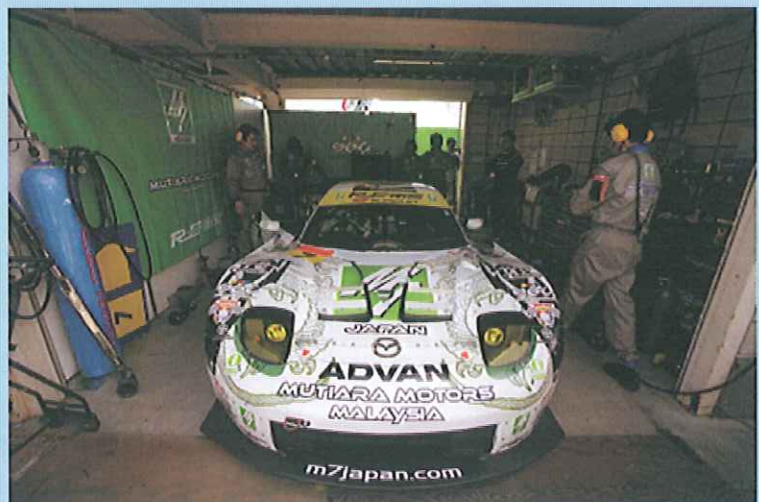
E-MAIL:Racing@re-amemiya.co.jp

第5戦菅生、今期初ノーポイントに終わる

2009 AUTOBACS SUPER GT Round5
「SUGO GT 300km RACE」
開催場所：スポーツランドSUGO
(宮城県柴田郡村田町菅生6-1)
開催日：7月25日公式練習&予選、26日決勝
入場者数：予選日 12000人、決勝日26000人
レース距離：3.704km×81周
天候：予選日：晴れ 決勝：晴れ/雨
路面状況：決勝：ドライ/ウエット
気温30度 路面温度42度



スーパーGTは2009年シーズンの折り返しとなる第5戦を、スポーツランドSUGOで迎えた。M7 MUTIARA MOTORS雨宮SGC-7は開幕から4戦連続で表彰台に上がるなど、ここまで怒涛の勢いでシーズンを突っ走ってきた。そして、第4戦で再びランキングトップへと振り返る。最終的にチャンピオンとなるためには、なおもポイントを獲得していかなければならないが、そのためにはMAXに近い現状のウェイトハンデ96kgをどう克服するかがカギを握ることになる。高低差のあるSUGOは、ウェイトが大きく影響する。さらには#7 RX-7がここまで武器としてきた“タイヤ無交換作戦”も、コース特性上難しい。ここまで、訪れた苦境をことごとく跳ね除け続けてきた#7 RX-7だが果たして、今回はどのような戦いを見せるのか。第5戦はまさに、正念場となった。





RE雨宮Racing

有限会社アール・イー・アメミヤ

〒286-0221 千葉県富里市七栄439-10

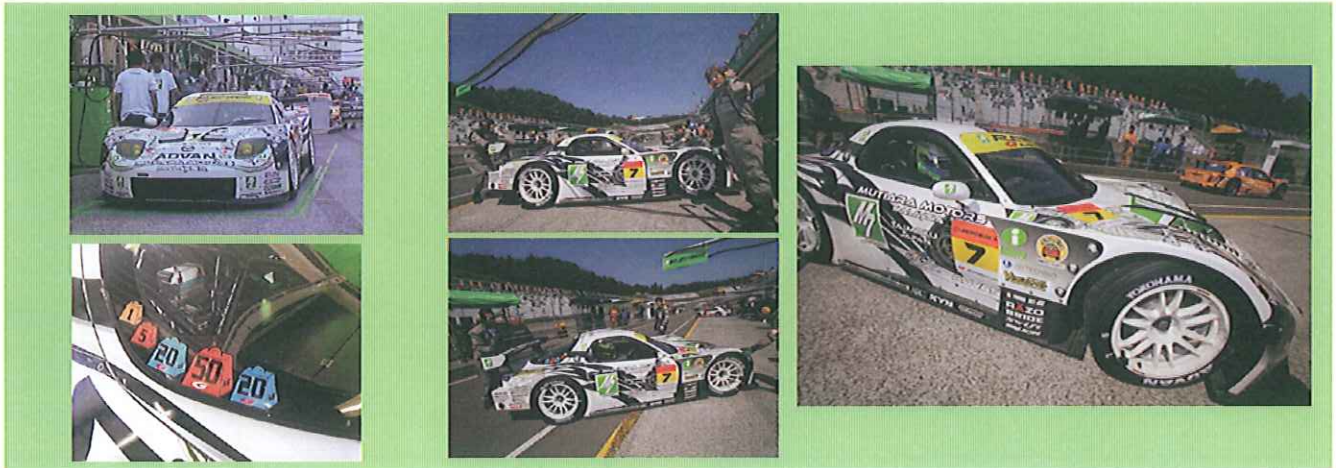
TEL:0476-90-0007/FAX:0476-91-4570

Home Page:<http://www.re-amemiya.co.jp>

E-MAIL:Racing@re-amemiya.co.jp

公式練習 7月25日(土) 9:45~11:30

土曜日午前9時45分から練習走行が行なわれた。早朝には雨が降っていたSUGOだが、練習走行開始時にはドライ路面となり、気温29℃、路面温度は34℃まで上昇した。#7 RX-7の課題はもちろん、重いウェイトを克服すべくセッティングを煮詰めることであった。そしてトラブルもなく50周の走りこみを行ったが、ベストタイムはクラス15位にあたる1' 26.973に留まる。「まずまずの仕上がりだと思ったが、84kgを積む#43ガライヤの速さを見ると、これでは厳しいかもしれない。なんとか#43ガライヤと#19 IS350の前でチェッカーを受けなければならないが、レースが雨になったとしても有利にはならないのだし、さらに煮詰めて行くしかない」。河野エンジニアは、苦戦となることをここで感じながらも、はっきりとタイトルに目標を絞り戦う姿勢を見せた。



公式予選 7月25日(土) 13:35~14:20

同日午後1時35分より、1回目の公式予選が行なわれた。日差しは午前中よりもさらに増し、気温30℃、路面温度は40℃にまで達した。まずは混走セッションから開始。#7 RX-7は開始と同時に折目選手が4周の攻撃を行い、2周目に1' 28.743をマーク。ピットイン後、谷口選手がすぐさま攻撃に向かう。谷口選手は2周目の攻撃で1' 27.676をマークしまずは10位につけると、その後の占有時間帯で引き続きニュータイヤを投入し連続で攻撃。このあたりから上位のタイムは軒並み上がり、スーパーラップ進出をかけた争いは激しさを増した。当面のライバルである#43ガライヤ、#19 IS350も、その中に入っていた。この状況に、チームは予定外のソフトタイヤを投入してまでもなんとか食い下がろうと試みる。谷口選手は渾身の攻撃で、ここからさらに1' 26.658、1' 26.336とタイムアップを果たし一時4位にまで浮上するが、ライバル達はさらにこれを上回り、#7 RX-7は最終的に予選を11位で終えることになった。#7 RX-7は第4戦に続きスーパーラップ進出を逃してしまった。



RE雨宮
RACING



RE雨宮Racing

有限会社アール・イー・アメミヤ

〒286-0221 千葉県富里市七栄439-10

TEL:0476-90-0007/FAX:0476-91-4570

Home Page:<http://www.re-amemiya.co.jp>

E-MAIL:Racing@re-amemiya.co.jp

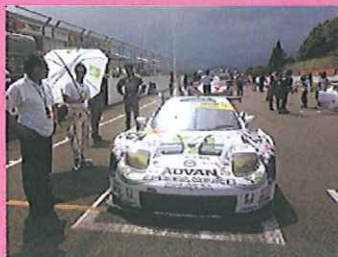
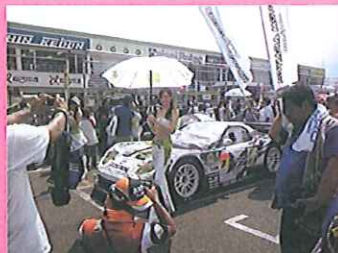
スーパーラップ 7月25日(土) 15:40~

「ランキングトップに再び立ったからには、それを守ることを当然考える。だから、争っている#43ガライヤと#19 IS350は意識した。今日は走り出しから重量なりにマシンの感触は良かったしアタックも悪くはなかったが、彼らは予想以上に速かった。ベストのセクターをつないでも、2台は上回れなかったでしょう。明日はまわりを気にせず、チームとしてベストのレースをするだけ。SUGOは荒れる可能性があるので、自分達はそこに巻き込まれないようにしたい」と、アタックを行った谷口選手は、予選だけでなくレースでも厳しい戦いになることを覚悟した。なお第5戦のポールシッターは#81ダイシンフェラーリF430。予選一回目でトップに立ったスポット参戦の#33ハンコックボルシェを、スーパーラップで逆転した。



決勝レース 7月26日(日) 14:00~ (81LAP)

決勝が行われる日曜日にもまた、前日に続き朝から予想外の晴天。9時45分からのフリー走行は厳しい暑さの中、ドライコンディションで行なわれた。ここで#7 RX-7は、レース中に雨が降り出すことを予想した上で様々なパターンのセッティングシミュレートを行なったため、リザルトは14位に留まる。“いかに雨に翻弄されずに、状況対しの確かな判断をしていけるか”、これが第5戦でランキングトップを守るために最も重要だとチームは考えた。





RE雨宮Racing

有限会社アール・イー・アメモミヤ

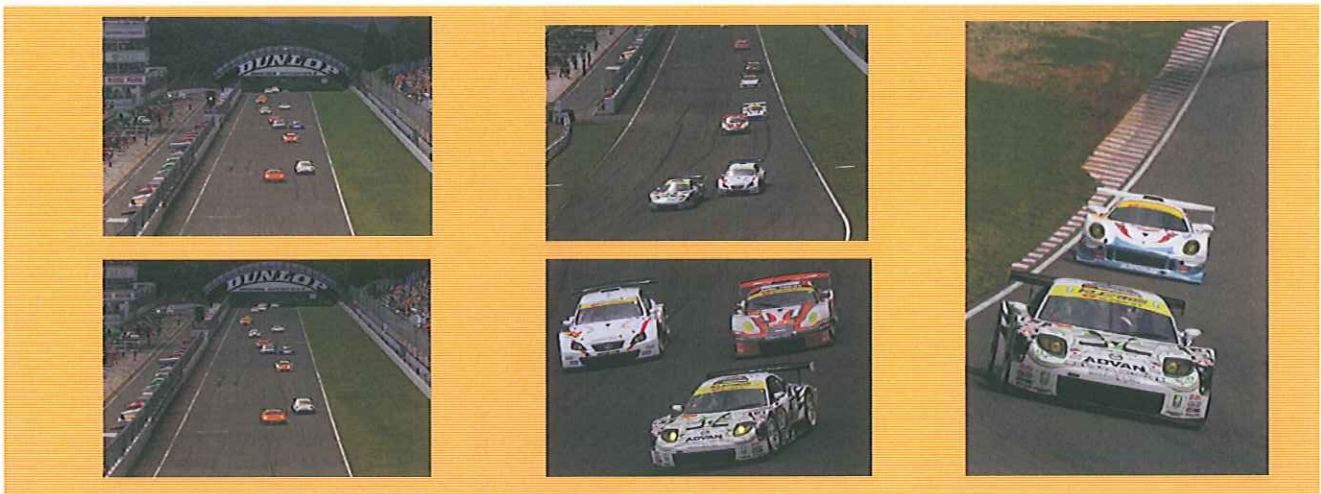
〒286-0221 千葉県富里市七栄439-10

TEL:0476-90-0007/FAX:0476-91-4570

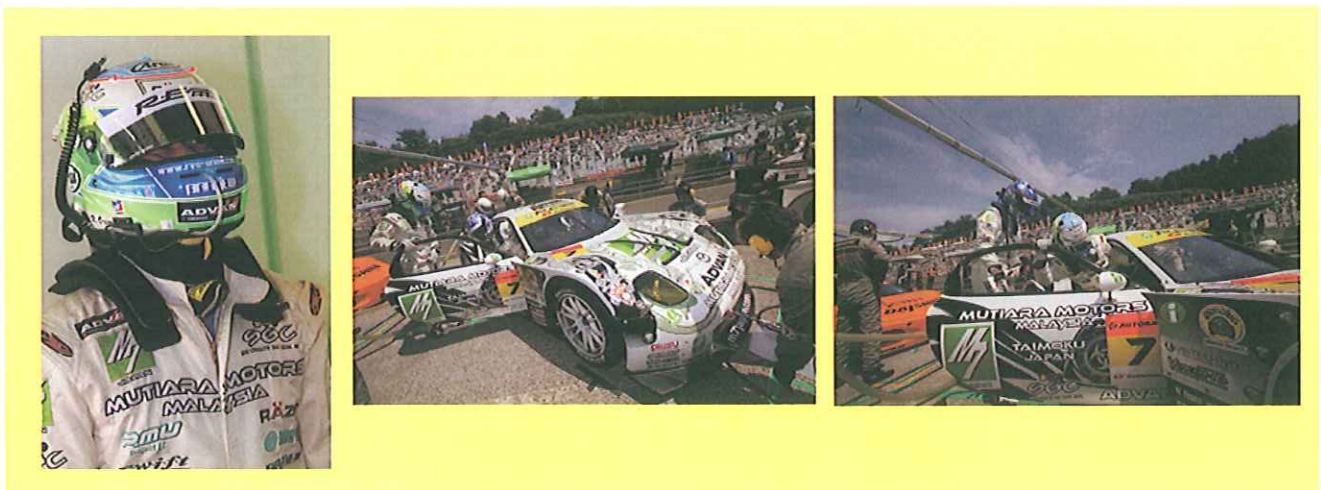
Home Page:<http://www.re-amemiya.co.jp>

E-MAIL:Racing@re-amemiya.co.jp

午後2時にレースは、気温30℃、路面温度42℃のドライコンディションからスタート。#7 RX-7は今回も、谷口選手がスタートドライバーをつとめた。そして11位からスタートした#7 RX-7はオープニングラップこそこれをキープするが、2周目に#110ポルシェにかわされ順位をひとつ落とす。ストレートスピードの差だけではなく、マシンがレイン寄りのセッティングであったため、スタート時点のコンディションではペースが思いのほか上がらなかったのだ。ここから雨が降り出すのか、降らないのか、いずれにしても#7 RX-7は、後半に賭けていた。谷口選手は序盤、12位をキープし続けた。



スタート直後からコース上に近づき始めていた雲はいよいよ真上にさしかかり、25周目を過ぎたあたりから、雨が落ち始める。雨の勢いは徐々に強まり、各ピットは慌ただしくなった。状況を読みチームは31周目にレインタイヤへ交換することを一旦決めるが、コース上の一部で雨が激しかったことから、谷口選手の判断により予定より1周早くピットイン。ピットロードは混乱しておりスムーズにはいかなかったが、この判断は奏功した。代わった折目選手がコースに入り、すべてのマシンがレインタイヤへの交換を終えると、#7 RX-7は順位を2つ上げ、ポイント圏内の10位に浮上していた。ところが、実際レインタイヤを装着したマシンはバランスが悪く、このため折目選手も苦戦を強いられることになる。#7 RX-7のラップペースは上がらなかった。雨は一時的に強くなるがその後は徐々に雨脚を弱め、50周目を迎えるあたりではとうとう止んでしまう。ここで、14位まで順位を落としてしまっていた#7 RX-7は、いち早くスリックに戻すことを決める。レースはすでに2/3を経過しており、このままではポイント圏内への浮上が難しいと見た#7 RX-7は賭けに出た。



RE雨宮
RACING



RE雨宮Racing

有限会社アール・イー・アメミヤ

〒286-0221 千葉県富里市七栄439-10

TEL:0476-90-0007/FAX:0476-91-4570

Home Page:<http://www.re-amemiya.co.jp>

E-MAIL:Racing@re-amemiya.co.jp



そして、結果的にこれが好判断となる。この後徐々にペースを上げていった#7 RX-7は、チェッカー間際に順位を2つ上げ、11位フィニッシュ。しかしこの第5戦で今季初めて、ノーポイントに終ることになった。

なお、第5戦の優勝は#33 ハンコックポルシェ。レースをリードしたポールスタートの#81 ダイシンフェラーリF430を、残り8周で逆転した。



谷口選手「やはりウェイトが厳しかったです。上りの最終コーナーで全くスピードが上がらず、ポルシェに簡単に抜かれてしまいました。次回も同じウェイトだから、それまでに何とか打開策を考えないと。ただ、ライバルも厳しくなるわけですし、第6戦は小さいポイントの取り合いになるでしょう。うちは長距離が苦手なのですが、それでもなんとか頑張るしかないですね」



折目選手「ミスも確かにありましたが、ああいう状況の中で戦ったことで、次戦以降の糧になりえるものも多かった。ミスについては、もう今回で最後。これを繰り返してはチャンピオン争いなんか出来ないなので、二度と繰り返さないようにします。次の鈴鹿はホームコースで自信もあるし、そこから仕切りなおしたいと思います」

ランキング2位だった#19 IS350が5位に入ったことで、#7 RX-7はわずか一戦でランキングトップの座を明け渡すことになった。些細な後退が、タイトルの方角を左右する。国内最高峰の中のトップ争いはそれほど厳しく、強烈なライバル達もひしめいている。シーズンは次戦（第6戦/鈴鹿：8/22,23）から後半戦に入り、いよいよ佳境を迎える。#7 RX-7は再び、トップを追う戦いを始める。



RE雨宮Racing

有限会社アール・イー・アメミヤ

〒286-0221 千葉県富里市七栄439-10
 TEL:0476-90-0007/FAX:0476-91-4570
 Home Page:<http://www.re-amemiya.co.jp>
 E-MAIL:Racing@re-amemiya.co.jp

2009 SUPER GT RD5 菅生

予選結果

順位	ゼッケン	車名	ドライバー		タイム
1	81	ダイシン アドバン Ferrari	青木 孝行	藤井 誠暢	1'23.435
2	33	HANKOOK PORSCHE	木下 みつひろ	影山 正美	1'24.150
3	43	ARTA Garaiya	新田 守男	高木 真一	1'24.701
11	7	M7 MUTIARA MOTORS雨宮SGC 7	谷口 信輝	折目 遼	1'25.770

決勝結果

順位	ゼッケン	車名	ドライバー		周回数
1	33	HANKOOK PORSCHE	木下 みつひろ	影山 正美	75
2	2	アップル・K-one・紫電	加藤 寛規	吉本 大樹	75
3	11	JIMGAINER ADVAN F430	田中 哲也	平中 克幸	75
11	7	M7 MUTIARA MOTORS雨宮SGC 7	谷口 信輝	折目 遼	74

2009 SUPER GT POINT RANKING

ポイントランキング チーム

順位	チーム	ポイント
1	RACING PROJECT BANDO	65
2	M7 RE雨宮レーシング	63
3	Cars Tokai Dream28	59

ポイントランキング ドライバーズ

順位	ドライバー		ポイント
1	織戸 学	片岡 龍也	50
2	谷口 信輝	折目 遼	48
3	加藤 寛規	—	46